

「指導力評価に関するチェックリストの項目一覧(案)」に関して必要な作業

- ※1 資料3の「指導力評価に関するチェックリストの項目一覧」を、以下「チェックリスト」という。
※2 チェックリストは、公益社団法人国際日本語普及協会、公益財団法人日本国際教育支援協会の調査研究報告書を基にしているため、両協会にも意見を求めて作成。

1. チェックリストで取り上げる項目が誰を対象としたものか明確にする。

(案1) 地域日本語教育コーディネーターに関する項目と指導者に関する項目とを別の一覧にまとめる。

(案2) チェックリストのそれぞれの項目について、欄を追加するなどし、誰を対象としたものか明確にする。

⇒ 案1, 2のどちらの対応を行うか検討した上で、チェックリストの項目を対象ごとに分類する。

2. これまでカリキュラム案等で取り上げてきていない発想に基づく項目に対して付しており、カリキュラム案全体の方針と齟齬を来さないような表現に修正する。

(※ 例として、資料3「△」部分が該当)

3. 抽象度が高いか内容の理解が難しい項目については修正する。

(※ 資料3「●」部分が該当)

⇒ チェックリストから外すか、表現の工夫を行って残すか検討する。

4. チェックリストで取り上げる項目には、組織の体制や環境に関する記述があり、日本語教育プログラムを実施する際に必要となる能力に関する実施者の自己評価の項目としてなじまないと考えられるものについては修正する。

(※ 資料3「✓」部分が該当)

⇒ チェックリストから外すか、表現の工夫を行って残すか検討する。

5. チェックリストで取り上げる項目の内容、量、並びが適切かどうか検討する。

⇒ 気付いた点があれば、その都度、検討し、必要に応じて修正する。